令和6年度 事業報告書

(1) 法人としての取り組み

①課題解決チームの取り組み

今年度より園庭・玩具・安全管理の種類で保育士による課題解決チームを発足する。保育の経験年数を考慮し、新任層～ベテラン層を分散してチームを作成することで、園内の課題を解決しながらも、職員の育成も兼ねている。絵本や玩具備品の管理、園庭備品の整備、園庭で使える玩具づくり、年齢別の戸外遊び注意事項の取りまとめ…など、保育環境の向上がより迅速におこなえている。

②卒園児ボランティア

新型コロナウイルスの影響により、卒園児との交流機会が減少してしまった。新たな取り組みとして、卒園児に夏期ボランティアとして保育園へ招待する取り組みをおこなう。15名の参加があり、中には複数回参加する児童もいた。在園児との交流を楽しんでいる様子があったので、今後も継続して実施していきたい。

③保護者・保育士向けの園内研修の実施

新しい取り組みとして、東京おもちゃ美術館より岡田哲也氏を招き、「おもちゃの選び方講座」を実施する。保護者4名とクラス担任が参加した。子どもが玩具を通じてどのような事を感じているのか、大人はどのように見守り関わるのかなど、おもちゃの選び方を通じて、子どもの育ちや見守り方などを学ぶ機会となった。今後も実施していきたい。

④第二園庭の取得

第二園庭および駐輪場を用途とした土地を取得した。園庭チームが主導となり、子どもたちの活動がより充実するように、どのような園庭作りをしていくかを議論して作成した計画をもとに、今年度より着工して環境を整備していく。

(総括)

昨年度は卒園児や保護者へ向けての新たな取り組みを実施する。改善点をふり振り返りながら、継続的に実施していきたい。園内の職員同士が学び合うような環境作りに関しては進んできたが、外部研修への参加が少ないので、研修に参加しやすい環境作りや育成体系の見直しをおこなっていきたい。また、主任保育士が交代するため、安定的な保育体制を整えられるようにしていく。

(次年度にむけて)

- ・不適切な保育を防ぐ物的環境整備—防犯カメラの設置
- ・保育の発信力強化—HPの見直しをおこない、利用者や利用を検討している人へ保育園を知ってもらう。

(2) 保育の報告

保育の内容は安全性を最優先に、人権に配慮しつつ、落ち着いた、基本に忠実な良質の処遇となるよう全職員で取り組み、保育指針への適応にも取り組んできた。なお、保育の詳細については、「2023年度 保育の報告書」を参照願いたい。

(3) 給食・食育の報告

別紙「給食・食育の報告」を参照願いたい。

(4) 保健の報告

別紙「保健報告」を参照願いたい。

(5) 苦情解決

苦情解決委員が招集される苦情はなし。